

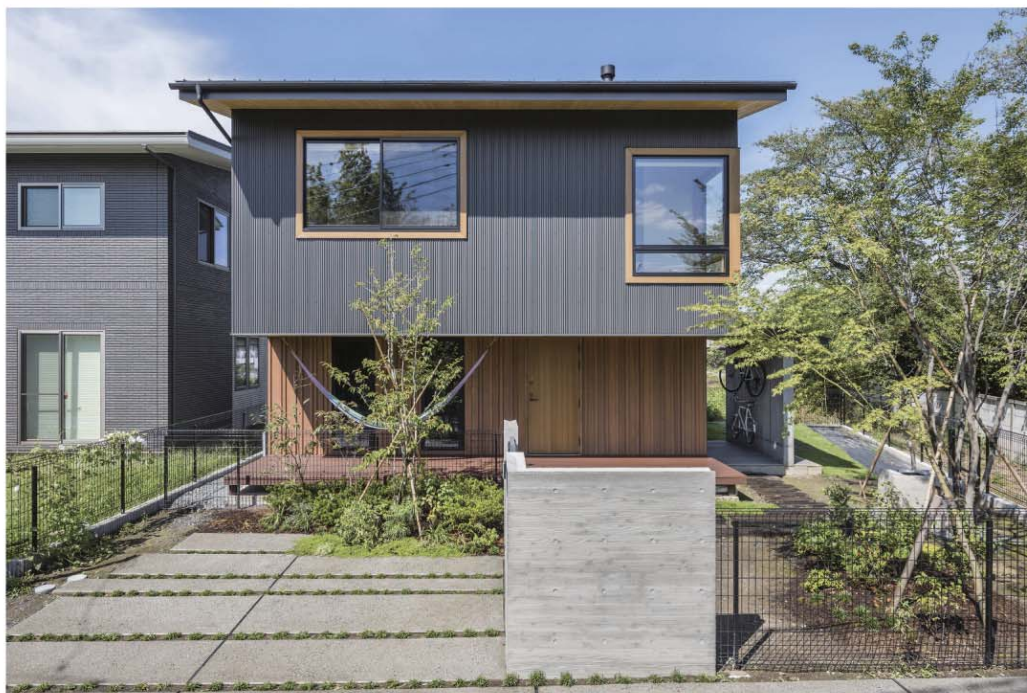
GUNMA  
HOUSING  
AWARD  
2017

優秀賞  
アイデア住宅賞

## 内外を回遊できる家

〈 ないかいをかいゆうできるいえ 〉

設計者 田中朋久建築設計事務所 施工者 株式会社 翼創建

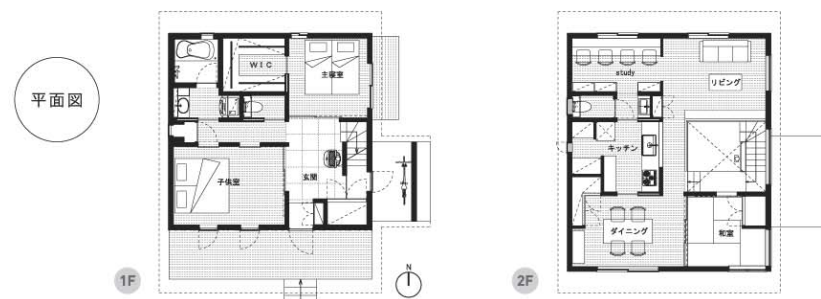


## CONCEPT

### 設計主旨

「薪ストーブを中心に据えた、自然と共存する家」をテーマに、行き止まりのない楽しく回遊できる動線を実践した住まいをつくりました。敷地は高崎市郊外に残る貴重な屋敷林に隣り合う場所で、北側に田園風景が広がりその先に群馬を代表する山々を望む静かな環境です。2階にはこの屋敷林を望む中心の位置にキッチンを入れて、明るい陽射しが入るダイニングや山の景色を望むスタディールームを回遊しながら家事を行える動線をつくりました。中2階にある和室の窓を開けると風が1階と2階に行き渡ります。そして廻り階段を降りると1

階には薪ストーブを中心とした夜のリビング空間があります。2つの寝室の引き戸を大きく開くことで、家族の気配を感じることができるようにして、外との連続性を持たせました。そして勝手口の外にはコンクリートでできた壁があり、両面に屋外で使う様々な道具を収納することができます。このように自然を感じながら、周囲の環境に身体ごと溶け込み、家族仲良く暮らしを楽しむ住宅ができました。



## REVIEW

### 講評

高崎市郊外の古くからの屋敷が点在する地域にあるこの家は、新たに住宅区画された部分の一番奥にあり、背後には緑あふれる屋敷林が隣接している。この緑を借景として2階にリビングを設けている。2階の大きな窓から切り取られた景色は、まるで森の中に暮らしているかのようだ。

一階の玄関ホールに薪ストーブがあるのは意外に思われるかもしれない。しかし一階各個室の引き戸を開け放つことで薪ストーブを囲む広い一体的空間へと生まれ変わる。さらに薪ストーブがこの家の下階中心部分にあるおかげで家全体が暖かい。コンパクトかつ機能的なレイアウトプランといえよう。

二階のリビングとダイニングはキッチンを中心にぐるりと回遊できる。北に面して家族みんなが作業できる幅広のデスクは集中できる空間となっている。中二階の多目的利用できる畳敷きの客室も扉を開放するとオープンな空間となり、上下の階に回遊性を持たせている。

ゆったりとした外部空間にも工夫をこらし、特に玄関前をオープンにすることで子どもたちが遊びに来るなど近隣の交流も増え、生活が豊かに感じられる。

内外にアイデアあふれるデザインと合理的なプランで施主も満足した作品となった。

